

ニューズレター雪氷北信越

No.39 平成6年9月12日
(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次
平成6年度支部顧問・評議員名簿／見学会・講演会・学習会報告／講演会・
学習会の案内／訪中団／その他

お知らせ

平成6年度(社)日本雪氷学会北信越支部顧問・評議員名簿
(平成6年9月12日現在)

顧問

平山征夫
中沖正憲
谷本幸雄
栗田良
吉村午
宮越正
西川純
小出弘
本田欣二
杵淵衛
内山文雄

新潟県知事
富山県知事
石川県知事
福井県知事
長野県知事
上越市長
柏崎市長
小千谷市長
十日町市長
栃尾市長
見附市長

日浦晴三郎
大塚久郎
伊藤仙太郎
久保田哲夫
大沼匡之
中川正茂
下田三郎
中俣一郎
津端久一
丸山弘
栗山弘

長岡市長
新井市長
能生町長
野沢温泉村長
日本雪氷学会顧問
金沢女子大学学長
新潟工業短期大学学長
新潟短期大学教授
元日本国鉄建設弘済会
(社)北陸建設弘済会
部長

評議員

三宅義彦
炭谷秀樹
西建吾
滝本純生
安井常二
松橋昭彦
小佐藤進
風間知昌
箕輪典博
刈谷博

新潟県企画調整部長
富山県生活環境部長
石川県土木部長
福井県土木部長
長野県土木部長
上越市建設部長
柏崎市企画課長
小千谷市建設課長
十日町市企画課長
栃尾市企画課長
見附市企画室長

武藤克己
後藤国保
白石昭雄
斎藤虎雄
古川征夫
千田靖雄
長坂秀雄
藤原光壽

長岡市企画調整部長
新井市建設課長
能生町総務課長
野沢温泉村企業課長
(株)アルコス代表取締役
(株)加賀田組常務取締役
北陸電力(株)技術研究所
所長
北陸道路エンジニア(株)取
締役

学習会

富山地区学習会の報告

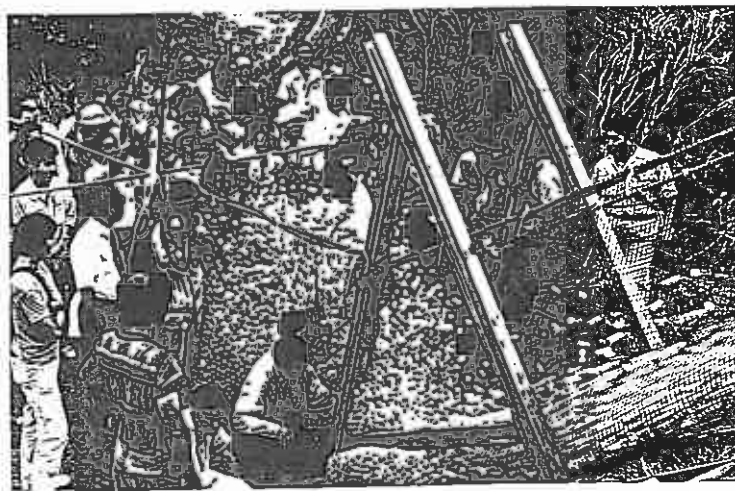
富山地区学習会が国立極地研究所の伊藤一先生を講師に「Global雪氷学」と題して9月5日(18:00-19:30)に行われた。「北半球の流水の南下はどうしておこるか」の問題を通して地球規模の様々な要因について考えた。

北極の氷の中心付近の厚さがわずか3.5mという話には参加者は一様に驚いていた。参加者は12名で、終了後講師を囲んで懇親会が行われた。

(対馬理事 記)

見学会・講演会 ビジュアル模擬雪崩シンポジウム 報告

1994年9月7日(水)13時からピンポン球雪崩見学会と模擬雪崩研究に関する講演会を合わせたビジュアル模擬雪崩シンポジウムが、56名参加して十日町市で開催されました。見学会では、3万個のピンポン球が森林総合研究所十日町試験地にある傾斜40°の試験斜面を利用して作られた長さ40m、幅90cmの木製シュート上を秒速10m以上の速さで流れ下り、あらかじめ抽選で選ばれた4名の幸運なピンポン球雪崩体験希望者を埋め尽くしました。また、講演会はクロス10を会場として行われ、密度流・大鋸屑・ピンポン球・発泡スチロールを用いた模擬雪崩研究が、実験の実演やビデオ映像などを使って紹介されました。



抽選に当たった幸運な雪崩体験希望者をピンポン球雪崩が襲う瞬間 (納口記)

学習会

新潟地区学習会のお知らせ

日時：10月12日(水)16:00-17:30

場所：北陸農業試験場 上越市稲田 1丁目 2-1

TEL. 0255-23-4131

信越本線 高田駅下車、バス [番町・岡田] 行 稲田2丁目下車
[リジョンプラザ]

話題：「化学工学からみた雪の利用」

小森友明教授(金沢大学工学部)は、現在、流動研究員として
当場において「雪を利用した二酸化炭素除去システムの開発」
に従事されています。そこで今回は、その結果を中心に広く化
学工学的観点からみた雪の利用についてお話しして頂くことに
しました。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

連絡先：北陸農業試験場 地域基盤研究部 気象資源研究室
高見 晋一 TEL. 0255-26-3234

講演会

富山地区講演会のお知らせ

演題 「グリーンランドの雪」
 講師 熊井 基 (C R R E L 研究員)
 日時 10月29日(土) 10時～11時30分
 場所 富山大学 理学部 2号館 3番教室 (3F)
 問い合わせ先 石坂雅昭 (富山市科学文化センター)
 TEL. 0764-91-2123 FAX. 0764-21-5950

訪中団

日中雪氷学術交流訪中国帰国報告第一報

4月の支部理事・幹事会で派遣決定されてから、中国科学院と協議しながら計画された雪氷学術交流訪中団は、下記の通り、予定通り実施され、梅村団長以下8名全員無事帰国しました。
 詳細については、各団員からの報告をまとめて『雪氷北信越』に掲載する予定です。

1. 日程

8月20日(土)	成田発－北京入国	北京(泊)
21日(日)	北京発－蘭州到着	蘭州(泊)
22日(月)	9:00-12:00 学術講演会、日本側7名講演 15:00-17:30 学術講演会、中国側7名講演	蘭州(泊)
23日(火)	蘭州市内または近郊を見学	蘭州(泊)
24日(水)	午前：学術懇談会(今後の交流について話し合う) 蘭州発－ウルムチ着	ウルムチ(泊)
25日(木)	トルファン盆地の見学	ウルムチ(泊)
26日(金)	天山氷河観測所・第一氷河見学	ウルムチ(泊)
27日(土)	ウルムチ発－北京着	北京(泊)
28日(日)	万里の長城見学	北京(泊)
29日(月)	北京発－成田着	

2. 学術講演会の題目

① 日本の降雪の特徴	小林俊一氏
② 豪雪地の市民生活とその雪対策	馬場良朗氏
③ 暖地の積雪とその処理対策	杉森正義氏
④ 高速道路の除雪	阿部勉氏
⑤ 雪の冷熱利用	梅村晃由氏
⑥ 管路による雪の水力輸送	白樫正高氏
⑦ 短時間降雪強度の連続測定	田村盛彰氏
⑧ 中国の氷凍圏状態研究	程国棟教授
⑨ 工程建設における凍土の対策	呉清柏教授
⑩ 中国の氷河サンプル解析研究	秦大河教授
⑪ 黄河の氷堤災害	黄茂桓教授
⑫ リモートセンシングを利用した牧区豪雪災害の調査とアセスメント	馮学智 副教授
⑬ 凍土の熱学特性研究の新しい進展	徐学祖 教授
⑭ 中国の積雪の状態変化	李培基 教授

今回の学術交流に際し、(社)日本雪氷学会北信越支部と中国科学院国际合作局及び中国科学院蘭州氷河凍土研究所から多大なご支援とご尽力を賜りました。厚く御礼申し上げます。

(田村幹事 記)

案内

平成6年度積雪対策研究発表会のご案内

日時：平成6年10月27日(木) 研究発表会 13:30～16:30
交流会 16:45～

場所：長野市県町528-1 長野ホテル犀北館 TEL. 0262-35-3333

プログラム(予定)：

講話 「雪雑感」 (財)日本積雪連合専務理事 角屋久次

講演 「飯山雪まつりについて」

飯山雪まつり実行委員長 高津日出夫

研究発表1 「積雪地域のドーム建築」(仮題)

信州大学工学部助教授 浅野良晴

研究発表2 「屋根雪荷重の調査と克雪への提言」(仮題)

八戸工業大学建築工学科教授 内山和夫

※研究発表終了後、交流会(懇親会)を開催。

参加費：研究発表会は無料、交流会費 5,000円

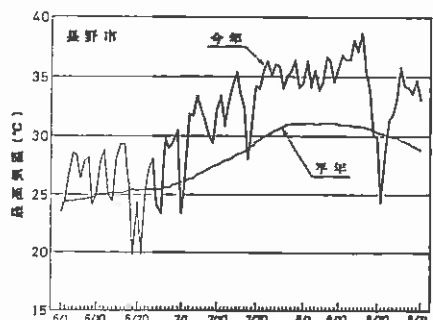
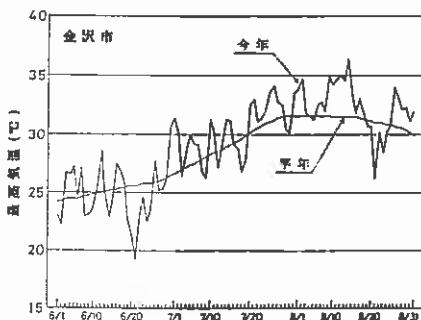
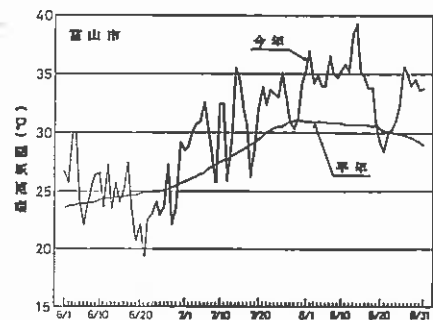
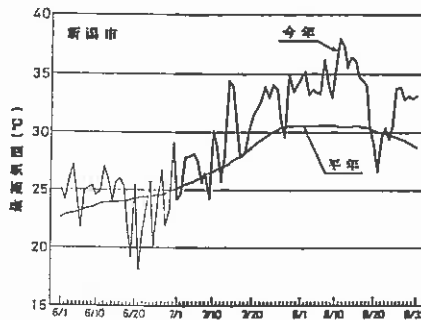
申し込み：10月7日(金)までに下記へ

〒950 新潟市新光町4-1 新潟県地域政策課内

財団法人 日本積雪連合 TEL. 025-285-3440

FAX. 025-285-3790

炎暑、渇水！ 今年の夏の記録



* データは朝日新聞、新潟日報のお天気欄より。
最高気温は0～15時までの記録。

(小林幹事 記)

その他

『ニューズレター雪氷北信越』について

ニューズレターに関するお問い合わせは
長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市

TEL.0258-35-7522

FAX.0258-35-0020

までお願いします。